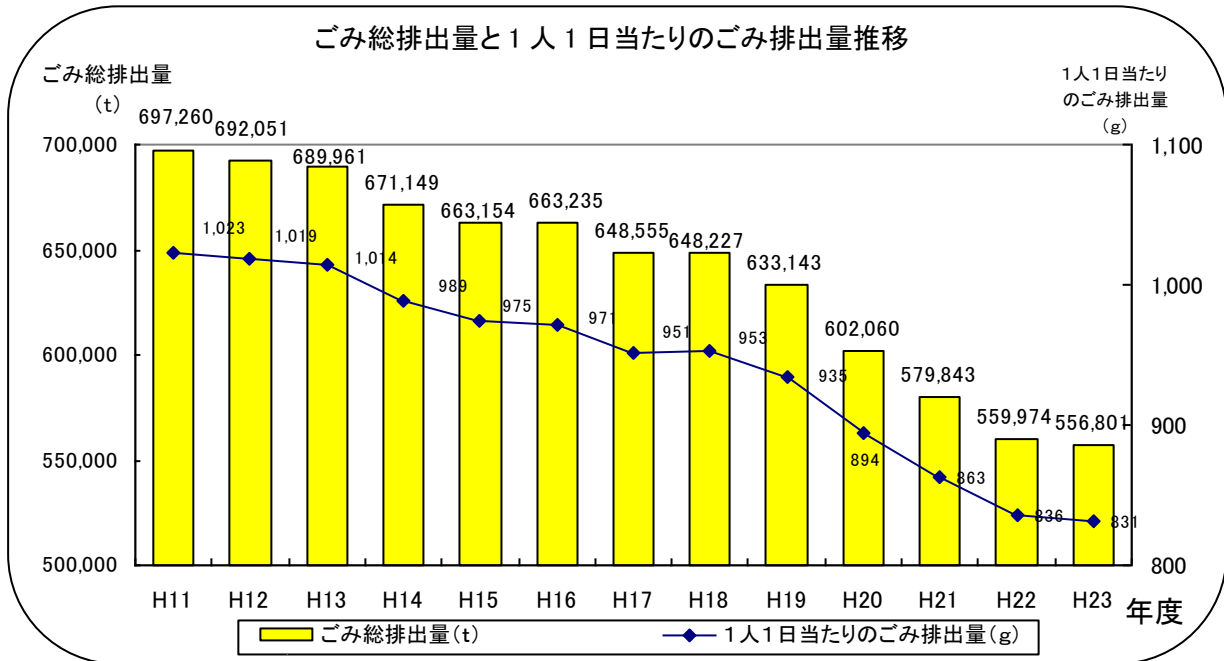


2 「全国一、ごみ（1人当たりの量）が少ない県になりました。」

1 概要

環境省が毎年実施している「一般廃棄物処理事業実態調査」の結果、平成23年度実績において、熊本県民1人が1日当たりに出すごみの量が831gとなり、初めて少ない方から全国1位となりました。

今後は、ゴミ減量化の推進を引き続き実施するとともに、リサイクル率が19.3%（全国23位）であるため、さらなるリサイクル率の向上も目指します。



2 要因

次のような取組による県民の地道な努力が結実したものと考えられます。

- ・市町村によるごみ袋有料化などによる県民意識の向上
- ・市町村による生ごみ処理機やコンポスト購入への補助による自家処理量の増加
- ・生ごみのひと絞り運動の展開（水分量の削減）
- ・小売店によるレジ袋の有料化の動き
- ・大型店舗がごみ減量化を推進したことによる事業所からのごみの削減 等

3 今後の取組

- ・3R推進のため、県民1人ひとりが「もったいない」という意識とともに、ゴミ減量化の一工夫を日々の暮らしの中で実践していただくよう、市町村と連携して啓発を行います。
- ・リサイクル率向上のため、各市町村と連携して分別徹底の啓発を進めていきます。
- ・各事業所に3Rコーディネーターが訪問し、ごみの分別及び減量化の取組方法を助言していきます。

※3Rとは、①Reduce（リデュース：発生抑制）、②Reuse（リユース：再使用）
③Recycle（リサイクル：再資源化）のことです。
※「3Rコーディネーター」とは、3Rに関する専門的知識をもった嘱託職員（2人）のことです。